事例No.	2874
公表年度	R5
団体の属性	都道府県
団体名	北海道

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

事例２　北海道ーえぞ財団　その１、その2

出典

地域づくり人材の養成に関する調査研究会（第3回）

事例２　北海道ーえぞ財団　その１

団体名	えぞ財団		運営形態	一般財団法人
活動範囲	複数市区町村（北海道全域）			
中核を担う職員等	任用形態	非常勤	出身地	同一地域内（北海道）
	年齢	30代、40代、50代、60代		

【取組概況】

○北海道の本当の課題と価値を認識するコミュニティを形成するため、**企業・個人・自治体よって構成された組織体**で、北海道を元気にするため、**メディア事業、教育・コンサル事業、投資事業**を手がける。メディアを誘引し、グループ・コミュニティを作り、その中で仕事の受発注もしながら、教育や様々なサービスを創出するといった形で、**生じた利益（効果）は、全部循環**をさせていく。

○メディア事業は、**10代20代が憧れて北海道で仕事したい**。と思えるような、北海道の地でビジネスをしていく上で、役立つ情報や人を紹介。

○教育・コンサル事業は、北海道で活躍している者から、**東京に行かなくても直接学べる機会を創出**。投資事業は、「財団」の形態を最大限活かし、**新しい産業を生み出すスタートアップ支援**も実施していく。

○教育は、起業家だけでなく**学生・生徒向け**も取組んでおり、北海道大学をはじめ小樽商科大学、帯広畜産大学といった**大学関係者との連携**、あるいは**高校との連携**も進んでおり、私立新陽高校や道の教育委員会との連携、更には同財団のメンバーが、自ら経営する会社の取組として「寺子屋事業」として、**未来をつくる子供たちをみんなで応援し合う**といった取組も始まっている。

○また、全国的な展開として、全国のプレイヤーとも協働し**「L47※」**という各地域の取組を紹介し、**地域創発の機運を盛り上げる**ようなイベントを毎年開催。

※北海道の他、全国のローカルプレーヤーが集まって繋がり・学び合い・発信する場

【設立の経緯】

○北海道は自然も豊かで、食も美味しいが、**儲かっていない**。といった話があり、現状は実際そのとおりである。

○そこで、**経済にコミットした組織をつくろう**と、北海道経済コミュニティとして、民間、行政・政治、個人または学生とか主婦も含め、それぞれのポジションで北海道を元気にしたいと想う人たちが関わる形で設立。

事例２　北海道ーえぞ財団　その２

【行政との関わり】

〇道において「北海道を応援したい」という個人や企業・団体の皆様のネットワークとして発足した**「ほっかいどう応援団会議※」に参加、官民連携の取組にも協力**。
※1,000を超える企業・団体のほか、約14,000名の個人が参加

〇民間主導で行う取組のため、**公費による事業スキームは一切行っていない**。財団が直接に自治体と連携することは控えている状況。ただし財団構成員としては、行政とは日頃よりコミュニケーションはとっている。

〇**自治体職員、議員が個人として財団に参画**するケースは多い、また道庁職員さんの中にも結構財団の関係者がいる。だからと言って道庁と連携協定を締結するかというと上述のとおり控えている状況

【中核を担う者の状況】

〇**北海道で生まれ、高校までを北海道で過ごす**。大学・就職と北海道を離れることになったが、**胆振東部地震を契機**に、被災地である厚真町で起業。

〇厚真町では、80代の高齢者が困っていることを解決するため、**困り事とその解決者を結びつける**サービス「ミーツ」を開発、運営。全道、全国の過疎地域でテクノロジーではない形で、**様々な困り事を解決するプラットフォーム**を作ろうと取組む。

〇「ミーツ」はその後、生活協同組合「コープさっぽろ」に売却、コープ事業に仲間入りする形になる。コープさっぽろは道内179の市町村の過疎地域に宅配事業を展開、店舗で共同購入、共同交通を行っており、買い物困難解消や生活機能維持に取組む。**全道全国の過疎地でもワークする仕組をつくろうと取り組む**。

〇過疎地域での事業にあっては、事業性と社会性を担保することが重要。持続可能な仕組をつくるために、いかに**ビジネスとしてやり切るか**というのも大事。

〇大手ビールメーカーとも組んで「ほっとけないどう」という北海道を舞台に、新たなプロジェクトに**チャレンジしたい「挑戦者」とその活動を支援したい「応援者」をつなぐ**コミュニティづくりを目指した共創活動を創設。

〇旗を振る覚悟を持って取組む必要がある。**ビジョンさえ明確に持てば、仲間がどんどん集まってくる**。